

■有料化を実施した場合に危惧されていた事項

- ①手で持てる量しか買わなくなることによる購買点数の減少
- ②顧客の混乱による、レジ混雑の悪化
- ③利便性がやや失われることによるクレームの発生
- ④どれだけ本取り組みが顧客の間で広まるか（レジ袋購入に走らないか）

■有料化後の顧客の動向

有料化によって上記の危惧される事項が実際に発生しうるかどうかを、実施前後における調査を通じて明らかにした。

1. 購買点数の変化

<有料化実施前の調査結果>

調査日時：2014年10月7日(火)～10月10日(金)

- *火曜日：12時10分～40分 店内レジ2台に調査員が張り付いての集計
- 水曜日：12時10分～40分 同2台の集計
- 木曜日：12時15分～13時 同2台の集計
- 金曜日：12時15分～45分 同4台の集計

購入品数	火	水	木	金	合計
1点	30	61	129	102	322
2点	57	65	138	96	356
3点	44	42	69	53	208
4点	19	15	15	11	60
5点以上	8	5	4	10	27
平均購買点数	2.48	2.13	1.94	1.88	2.08
来店数	158	188	355	272	973

<有料化実施後の調査結果>

調査日時：2015年4月27日（月）～5月1日（金） 12時10分～45分

店内レジ4台に調査員が張り付いての集計

購入品数	月	火	木	金	合計
1点	98	144	80	137	459
2点	161	203	162	195	721
3点	95	113	96	118	422
4点	28	48	39	31	146
5点以上	13	22	18	23	76
平均購買点数	2.23	2.24	2.37	2.22	2.26
来店数	395	530	395	504	1824
袋購入	16	13	12	6	47
不平	1	0	2	1	0
袋持参	1	1	0	0	0

実施前の顧客一人当たりの平均購買点数は2.08、実施後は2.26と、**購買点数が減少することは無かった**。（※数値は実施後が多いものの、これは授業開始直後の4月という時期の影響も考えられる。）

2. レジの混雑度について

昼休みの混雑時に店内の様子を観察した。

シール添付の省略や、手で持ちやすいようにする店員の配慮（大きい商品の上に小さい商品を置く）などにより、レジ袋が無くても混雑の悪化にはつながっていないように感じた。

顧客は、購入した商品を自分の鞆に入れたり、友人に持ってもらったり、スーパーの袋等を持参し再利用したりと、各自工夫をして運ぶようになっていた。

3. クレーム発生の有無について

店員に直接不平不満を言う顧客はいなかった。但し、会計終了後に友人に不平不満を漏らす顧客は若干いた。意見も少々届いている。

不平：温めた弁当が熱くて手で持てない。

袋がないと両手がふさがる。

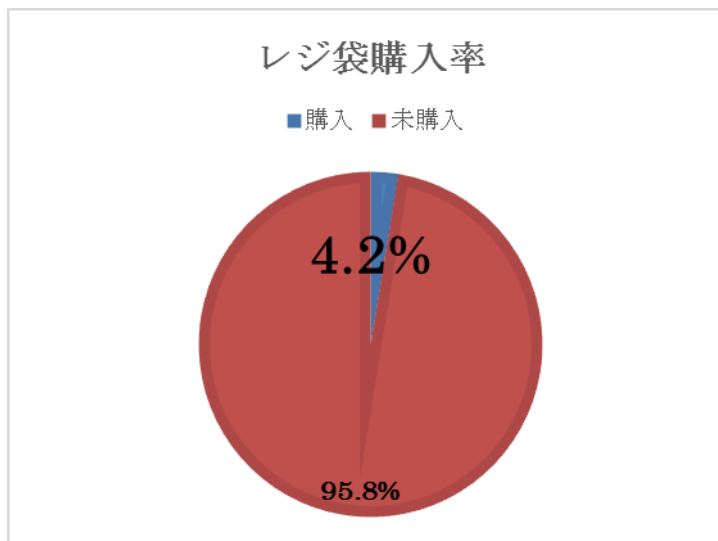
持ち方を工夫しないといけない。

意見：袋は必要ないと思うから無くなってよかった。

無料でもらっていた袋がもらえなくなって戸惑いはあるものの、よくよく考えたら必要性がないのでなくてもよい。

袋がどうしても必要という理由もないけど欲しい。面倒。

4. 顧客の中でのレジ袋購入率



枚数で表すと・・・

45,789 枚 → 1,909 枚 ～急減！

*以前は来客数≒レジ袋使用枚数だったことをふまえて H27 年 4 月の来客数 45,789 人と購入枚数 1,909 枚で比較している。

購入率は僅か 4.2%と、有料化による影響は大きく、レジ袋を利用しない顧客がほとんどであった。本取り組みが、顧客の間で広まっていることの証左であると考えられる。

以上